

定 例 会 議 会 議 録

開 催 日 時	令和6年9月11日（水）午前10時00分 ～ 午後0時15分	
開 催 場 所	特別会議室、公安委員会室	
区 分	『 全 体 会 議 』 議 題 ・ 要 旨	主 管 部
【 報 告 事 項 】	1 第393回県議会（9月定例会）の開催日程等について 第393回県議会（9月定例会）の会期は、9月18日（水）から10月18日（金）までの31日間が見込まれている。警察関係の議案等については、予算議案は「令和6年度宮城県一般会計補正予算（第1号）」が提出されるが、その内容は、令和7年秋に開催する「第48回全国育樹祭」に伴う対策室の設置等準備経費で、1,113万5千円の増額となる。予算外議案については、8月28日（水）に御審議いただいたとおり、来春栗原警察署が新設されることに伴い、条例の一部を改正する議案が1件提出される。 専決処分の報告は、交通事故以外の和解及び損害賠償の額の決定2件8万9,815円と、交通事故に係る和解及び損害賠償の額の決定9件199万8,341円が報告される。	総 務 部
	2 令和6年秋の交通安全県民総ぐるみ運動の実施について 本運動は例年どおり9月21日から30日までの10日間実施し、運動最終日の9月30日は全国一斉の「交通事故死ゼロを目指す日」となっている。 運動重点は、先般開催された宮城県交通安全対策協議会幹事会において、 (1) 反射材用品等の着用推進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止 (2) 夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用促進と飲酒運転等の根絶 (3) 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底 であり、全国重点と同じ3点に決定した。 運動重点に対する推進事項は、主に反射材用品の自発的な着用を促す広報啓発や薄暮時間帯における歩行者の保護活動に加え、11月に予定されている自転車利用者の「ながらスマホ」や「酒気帯び運転」の罰則の創設等に関する広報啓発と自転車・特定小型原動機付自転車の交通違反の指導取締りなどを強化することとしている。 出発式は、9月20日（金）午前9時から警察本部前駐車場にて、県との共催により関係機関・団体等約400人が参加し開催される。また、本県出身の車いすバスケットボール選手でパリパラリンピックにも出場された、萩野真世（はぎのまよ）選手による交通安全メッセージの発信と、白バイ・パトカーの警戒活動への出発を行うことで本運動の開始と交通ルール遵守を広く県民に周知することとしている。 過去5年間における交通事故発生状況は、秋の交通安全運動期間中の人身事故件数は年々減少しており、期間中の死者数は令和4年にはゼロを達成したものの令和5年は1名であった。また、月別・時間帯別の人身事故発生状況について、9月以降夕暮れ時から夜間における交通事故が増加する傾向が見られることから、こうした特徴を踏まえた取組を推進し期間中の交通死亡事故ゼロを達成したいと考えている。	交 通 部

	委 員：９月３０日の全国一斉の「交通事故死ゼロを目指す日」について、県警として対策等はあるのか。 交通部長：全国一斉にはなるが、午前２時間、夕暮れ時に２時間、通学路の見守り活動を実施する予定であり、特にスピード抑制のため可搬式のオービスによる取締りを実施したいと考えている。	
--	---	--

区 分	『 個 別 審 議 等 会 議 』	
【 決 裁 事 項 】	1 苦情の受理について（３件）	総 務 課
	2 保有個人情報開示請求書の受理及び保有個人情報の開示をする旨の決定について	総 務 課
	3 「犯罪被害者等給付金の支給等による犯罪被害者等の支援に関する法律」に基づく重傷病給付金の裁定（案）について（２件）	警 務 課
	4 審査請求の裁決について	監 察 課
	5 審査請求の受理及び裁決について	監 察 課
	6 地域交通安全活動推進委員の定数変更について	交 通 企 画 課
	7 一定の病気による行政処分（取消し）に対する撤回事案について（４件）	運 転 免 許 課
	8 道路交通法の規定に基づく意見の聴取等	運 転 免 許 課
【 報 告 事 項 】	1 運転免許センター（宮城県交通安全協会）におけるキャッシュレス決済実証導入の開始について	会 計 課
	2 令和６年７月中におけるストーカー規制法に基づく禁止命令の実施結果について	県民安全対策課
	3 運転免許学科試験予約システムの導入について 委 員：先に導入した県で何か問題や不具合などは報告されていないのか。 管 理 官：既に１１県が導入済みであるが、現時点では特にそのような報告はされていない。 委 員：聴覚障害をお持ちの方などは言葉の情報が少ないために試験の問題を細かく読み取れないことが多く、学科試験に受かりづらい現状がある。そういう方へのサポートやサービスがあると良いと思う。 管 理 官：やはり運転の適性を有する方が円滑に免許を取得できる環境を作っていかなければならないため、今後の課題として検討してまいりたい。	運 転 免 許 課
	4 公安条例許可申請について（令和６年８月分）	警 備 課

	5 小型無人機等の飛行に関する通報について(令和6年8月分)	警 備 課
--	--------------------------------	-------